

中心市街地と農山村地区の熱量が生み出したマルシェ開催！

令和6年1月7日、「秋田市シティプロモーションモデル事業」の一環として秋田市文化創造館にて「親子で楽しむ！あきたWinterマルシェ」が開催された。来場者は麴料理教室や絵本の読み聞かせなどの体験を親子で楽しみ、会場は多くの笑顔であふれた。麴料理教室では、農山村地区の「雄和・新波地区」で造られた麴や「河辺・式田地区」にある不銹鋼の陶器を使用し、秋田市の魅力発見の機会にも繋がった。

1 麴料理教室コーナー

＼ 発酵のチカラ /



子ども食育講座の後にみんなで作ったランチプレートを作りました。麴がこんなに万能調味料だったとは！



2 絵本・紙芝居読み聞かせコーナー



元保育士・介護士だった秋田市民のアイデアで絵本・紙芝居の読み聞かせをすることが決定！参加した子供は絵本・紙芝居の内容に夢中になっていました！



3 木片オリジナルアート製作コーナー



昨年度『絵本の世界』イベントを開催した子育て応援Seedにより発案されたコーナー。

色々な形の木片をバンドで自由に繋げて、ロボットを作ったり小さな家を作ったり、子どもの創造力は無限大！

4 出店コーナー

＼ 中心市街地の事業者や高校生による出店 /



大人も楽しいマジックショー、高校生が収穫したさつま芋もや大判焼きの販売、落としても割れにくい子ども用食器の販売など多くの来場者で賑わっていました！



「冬の秋田市」を子育て世帯がもっと楽しめるように！

秋田の中心地に居場所を増やす

あきたWinterマルシェは、市民主体の居場所づくり活動の集大成として子育て世帯や若者の移住者が中心市街地をより好きになってもらうことを目的として開催された。

イベントには百名を超える参加者があり、展示物の閲覧等をされた方を含めて一日を通して会場は延べ千人近い賑わいを見せた（「(一社)持続可能な地域社会総合研究所」調べ）。

民間企業と市民が意見を出し合い、それぞれが自分の強みを生かして主体的に行動した。子育て世帯が楽しめる居場所を提供できた経験は、市民主体の居場所づくりにおいて重要な一歩となった。

出店者の声

・秋田市在住 四十代女性

「自分が気づかないところをみんながフォローしてくれたり、そういう連携が自然に取れていて良かった」

・秋田市在住 六十代女性

「私は今までいろいろなマルシェやイベントを見たことがあるのですが、すごく雰囲気良くて子供さんがこんなにいるのだと感じました。出店者側としてぜひまた参加したい。」

参加者の声

・秋田市在住 三十代女性

「うちの子は七歳なのですが、長すぎると飽きてあちこちフラフラっていう感じなのがそれもなく、また安全性も親子でやっているから、子供だけだと危なかったりすると、とても問題なくしつかりできていて、とても良かったと思います」

・秋田市在住 三十代女性

「一緒に何かを作る時に、声を出さないままでは絶対にできないので『これ私やります』とか『塩入れてくれる人』とか『ニンジン擦りたい人』と発言するとみんなやってくれるので、自然にお母さんお父さんも仲良くなれてとても良かったです」

